

＜参考資料＞

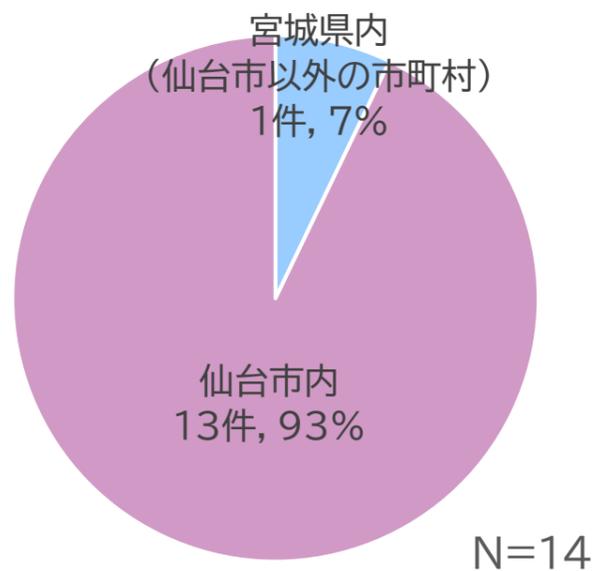
市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参考資料>

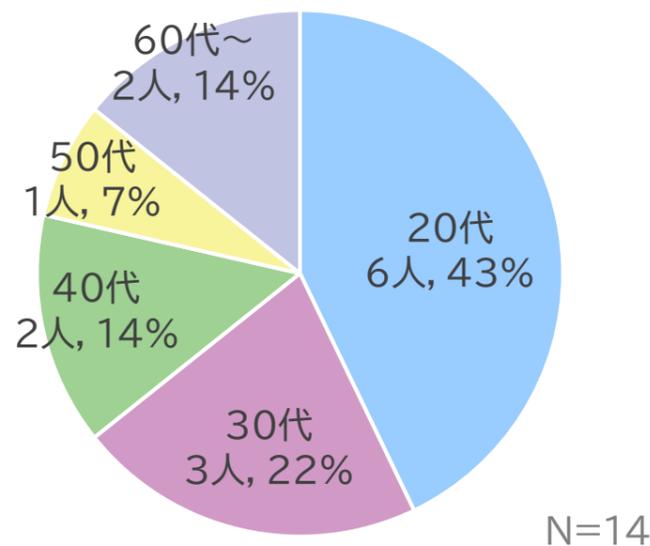
市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<アンケート調査結果>

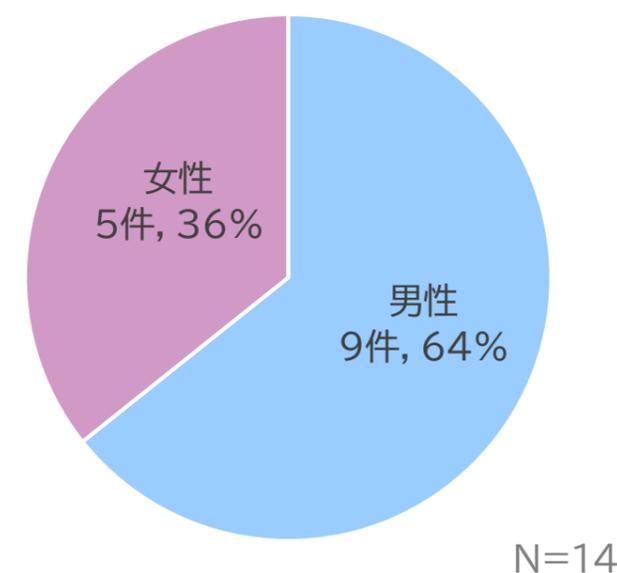
◆居住地



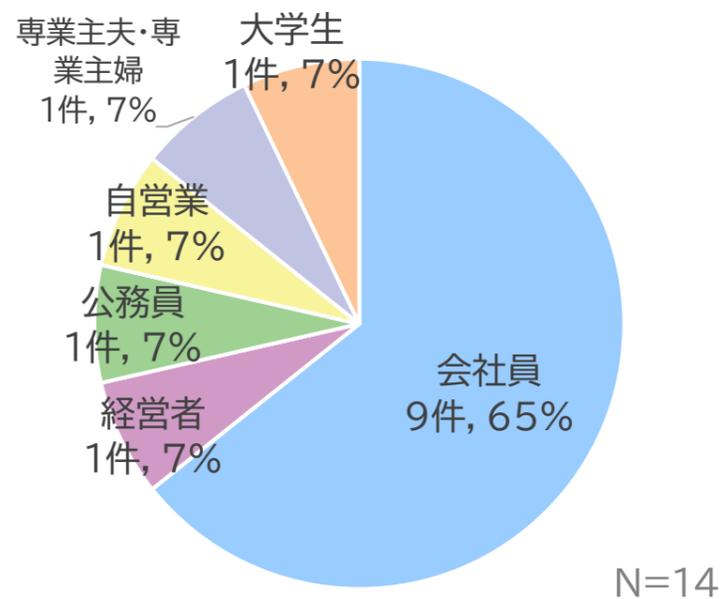
◆年代



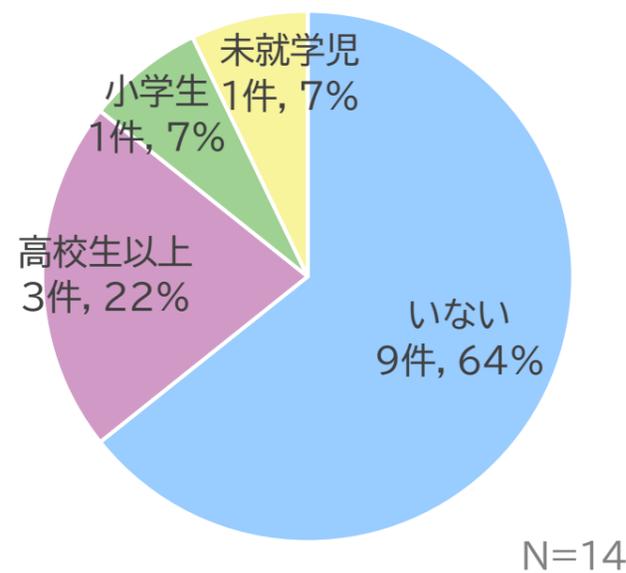
◆性別



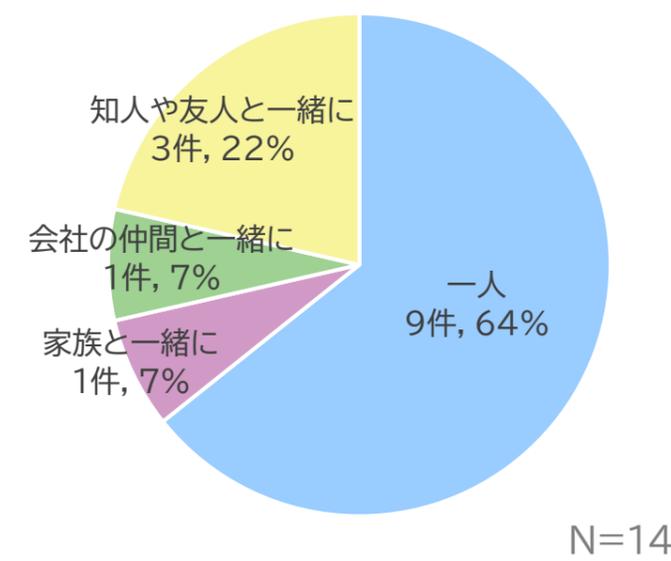
◆職種



◆子どもの有無



◆誰と来訪したか



<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<アンケート調査結果>

◆ イベント情報を認知した手段

n=14(複数回答可)

友達や知人の紹介	9
SNS広告 (FacebookまたはInstagram)	3
仙台つーしんのSNS (InstagramまたはX)	2
ご案内メール	1
市役所のデスクネット掲示板	1
その他	1

◆ イベントに参加した理由

n=14(複数回答可)

イベントの内容に興味があったから	5
ニューヨークロールが食べたかったから	2
社会実験の内容に興味があったから	9
青葉通の取組に興味があったから	4
仙台市の取組に興味があったから	3
知人が登壇しているから。	1
知人や友人、職場の仲間や家族などに勧められたから	5

◆ 参加したプログラム

n=14(複数回答可)

クロストーク① 10:30~12:00 「なぜ、MOVE MOVEをやったの？」	9
クロストーク② 13:00~14:30 「どうして、MOVE MOVEなの？」	10
クロストーク③ 15:00~17:00 「MOVE MOVEどんなことをやったの？」	11

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<アンケート調査結果>

◆市民参画イベントに参加して感じたこと

社会実験の結果や本取組に対する運営者の想いが伝わるとともに、目的の明確さ等に対する指摘があった

- 昨年の社会実験では、こんなことを考えて作られてたんだ！という種明かしを知ることができて嬉しかった。
- お話を聞き、仙台の街への熱い思いが伝わってきた。たくさんの素敵な思いがこめられて行われた街づくり(社会実験)について、市民が知りきれないということはずごくもったいないし。
- 社会実験での結果を今後どのように活かしていくのかという部分も興味があるので、是非またそういったことも知る場があったら嬉しいです！
- 「まちづくり」や「青葉通りをどうしたいか」を考えるきっかけになった。
- すごく詳細な分析がされており、これを活かして今後の政策に活かしたり地元の大学のコンテンツとして考える機会もあるといいと思った
- 市民が自分ごととしてまちづくりに参画できる仕組みづくりはすごく良いと思った。あとは都市圏に若者が流れてしまうのをどうにか食い止め、まちで活躍する若手が増えていけばいいなと感じた。
- いろんな人の力やエネルギーが取り入れられていて大変良いと思う。
- 社会実験なのにロゴだとか、枝葉の話何充実してる。完全に市のハンドリングの悪さがやりた放題を促進してる。予算があまったのか、自慢話イベントまでご用意!呑気な事です。社会実験に対して賛否両論があったことをチャット上で知ることができた。協議会においていろいろな検討がされたようですが、市内での連携はどうだったのかが気になった？
- 目的がはっきりしていないと感じました。人の流れを変えたい、青葉通の景観を変えたい、仙台のイメージを明確にしたい等々だんだん広がりすぎて基本が見えなかった。取り敢えずやってみることは、評価できるが、将来性を考えるならば、もっと幅広い年代のかたの参加があっても良かったのでは

◆30年後、仙台駅前はどのようなようになってほしいか (キーワード3つ/1人)

空間に対して、憩えること(落ち着く・優しさ等)、賑わいがあること、回遊の拠点であること、多様性・寛容性に関するものが挙げられた

自然系	自然、木陰、みどり(自然と都市の融合)、若葉、自然との共生、ケヤキが香、自然環境、緑、風	9件
雰囲気(憩い)	ゆったり、ぼーっとできる、落ち着ける、心地よさ、温かさ、温かい街、優しさ、穏やか、余裕 無償で長時間座れる、美しい音楽	10件
雰囲気(賑わい)	集まり、人と集まれる、里、賑わい キラキラ社会人	4件
拠点性・回遊性	仙台の玄関口、送客拠点、都市の他エリアへの送客エンジン	3件
多様性・寛容性	都市環境、両義的、受け入れ、多様性	4件
その他	フィトンチッド	1件

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク①「なぜ、MOVE MOVEをやったの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
質問	社会実験のねらい	理想の風景は、日常的な風景を目指しているのか。
		この社会実験は、青葉通のビジョンがまだなく、まずは「青葉通をどうするか」を模索するためにやってみたという認識なのか？
		東京でも官公庁が集まる大手町に賑わいを求めるのか？
		「表情」ってなんですかね？
		「仙台の顔」が賑わいの言葉で説明されたが、風景としてどういったイメージなのか？
		イベントやワークショップ等のコンテンツをたくさん開催したとのことですが、それがないと市民は集まらなかったのか？
	予算・事業費	いくらかかりましたか？
		もともと想定していた予算はいくらか？
	参考事例	どこか参考にしている都市またはエリアはあるのか？
		社会実験実施にあたってのモデルとした他都市での事例はありますか？
	手続き	焚き火はどうやって許可を取ったのか？ 周辺から反対はなかったのか？
	交流	多様で多世代にわたる交流とは具体的にどんなものがあったのか？
		焚き火イベントは進行役などがいたのか？ 自発的に市民が交流しようとしたのか？
	担い手の発掘	社会実験をやってからスタッフとして参画したい人はいたか？ その場合、どうされたのか？
回遊性	歩く距離のビッグデータが説明され、駅前にとどまっていることも課題とあったが、仙台以外の、比較されるまちでは、まちを歩く人たちはどのくらいの距離を歩くものなのか？	
	南北にある街区と、広場化との関係は？	
	なぜ、ペDESTリアンデッキから、青葉通りへ降りてもらわなければいけないのか？	
交通面	歩行者空間の圧迫がバス待ちの行列だとしたら、バス停空間を改善することを検討されたか？	
広報	市民の感覚だと、イベントを実施する旨の広報があったと思う。市民への広報のねらいは？	
天候	雨天時の対応について、どのような検討がされたのか？	

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク①「なぜ、MOVE MOVEをやったの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
意見	社会実験のねらい	今後の開発が行われる青葉通りならではの社会実験なのだと思います。道路空間にはみ出たからこそ生じた問題をむしろ建物側にはみ出るとかも考えられると思います。開発を含む将来を見据えた社会実験だからこそ視野を広げて、実験結果を今後深掘りするにあたって繁栄できたら良いのだろうなと思いました。貴重なお話ありがとうございました。 これを東口です行ったとしても、あまり変わらない結果になったのでは？ 青葉通りで行う必然性を感じない。
	予算・事業費	2億円の中身のほとんどは調査に当たった受託業者の人件費とのことでしたが、そもそも市民の声を聴くべき市役所職員ではなく、民間の調査業者に委託してやる必要性・効率性が分かりません。委託してしまったら市役所職員の経験や知識にはなりにくいので、例えば都市整備局以外への応援も含めてほとんどを市の職員で行えば、人事異動があってもMOVE MOVEに対する興味関心を持ち、かつ調査に当たった経験のある職員が増えるので良いのでは。もっと市役所の財産になるような取り組みにしていただきたいです。
	回遊性	回遊性なら、ペDESTリアンデッキを利用すればよい。朝市や名掛丁へは、これを利用してるでしょう。
	広報	課題にもあったように、広告から目的が分からず、当時調べた結果から、交通規制をして交通量を調べるということだと認知していた。今回、話を聞いて、こんな面白そうな企画をされてたことを知り、参加したかったです。
	感想	社会実験のような空間があると「仙台の顔」と言えるのかもしれないけど、現状はなかなか「仙台の顔」とは言えないかなー イベントとして見えていいのかなと思いました。社会実験だと私は後から知りました。楽しそうじゃないとペデから降りていかなかったです。降りたからこそこうやってこのイベントにも参加してみました。にわか参加ですみません！ 東北の田舎から初めて仙台に降り立った時、さくら野百貨店や仙台ホテルがあってまさに仙台の顔でした。その表情はシティ感ある東北の中心地！仙台の顔は東北の顔ということにもなるのかなと感じています。
	効果検証	オリエンタルさんの調査が細かくてびっくり！こんなにビッグデータが取られてるのか！
	学び	通りがけに、政治のお話をしていた方だと思います。政治的な話ってなかなか室内のやつには参加しづらくて…、でもあの場所で実はこっそり近くに座って聞いて参加していました。あれ以来選挙にも行くようになりました。
	思い出	古いですが水時計前の待ち合わせもありましたねえ。。

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク②「どうして、MOVE MOVEなの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
質問	社会実験の意義	<p>ここでの社会実験は、相当数の批判があるがいつの間にか隠れている。ここで車線規制してまで行う必然性はあるのでしょうか？</p> <p>「何も決まっていなかった」との話があったが、要は国の「ウォークブル～」予算があり、ライバルと公言している福岡が成功していることを受けて、「仙台でも」の「コンセプト」ではないのか？そして宮城大を始めとしたグループに丸投げしたのではないのか？</p> <p>交通規制をしてバス待ちがない状況を作れば、滞在しているひとの層は必ず変わるし、2億円かけて色々なコンテンツを提供するイベントを行えば、滞在人数が増えることも当然。子育て世代に好評だったというのが一番の成果なのか？</p> <p>丸の内もさまざまな実験、取り組み(道路を通行止めにして人が楽しめる、憩える空間)をしており、なぜ賑わいを求めてはいけないのか？さくら野の開発計画もあることから、仙台の顔としての取り組みでしょう。現状に目を向けていないとあるが、現状のままでよいのか？</p>
	沿道建物等との関係性	<p>今回は歩行空間を広げるために道路をいじめた形でしたが、建物側の足元を含めて考えることもできると思った。今回の社会実験を通じて、今後開発を進めていくにあたりどのような空間が必要だと感じたのか？</p> <p>旧さくら野百貨店やEDENに隣接する駐車場などの空洞化、ロフトの味気ない裏が丸見えなところは問題だと考える。街区内で異なる不動産会社が開発をしていることが大きい要因だと思っているが、企画の中でそうした不動産開発者との連携はどのくらいあったのか？</p> <p>エデンは再開発を前提とした仮設的なものであり、将来的にはエデンとロフトのある街区全体が一体的に計画された上で広場化を行うことが、エリア価値向上につながると思うが、そうした想定はコンセプト/空間デザインの上で反映されているのか？</p>
	交通面	アーケードは昔車が通れる環境だったが、歩行者専用の道になりましたね。昔も反対されたのか？
	効果検証	<p>仙台在住の方と旅行者の方でそれぞれどんな使い方やアンケート結果があったのか？</p> <p>居心地調査も気になります。どのような指標を元に行われているのか？</p>
	社会実験開催時期	秋の時期に開催決定した背景はあるか？
	ロゴ・デザイン	<p>move moveのロゴや色を活かして今後のイベントでも使う予定や構想はあるか？</p> <p>move moveのデザインを使ったノベルティなどはあったのか？気に入っているノベルティなどあったか？</p> <p>ロゴマークがあったことを初めて知った。社会実験にロゴマークがある意義はあるのか？今回市民に浸透したと思うか？</p> <p>ロゴの色について、どうやって決めたのか？</p>
	広報	コンテンツのPRをしたらそれはイベントであって一過性のものになるのではないのか？将来につながる成果になるのか？
	空間デザイン	仙台駅側と愛宕上杉通り側で設置するものを変えていたりしたのか？
	その他	「市役所へのプレゼン」は、市長へのプレゼントか？熱意を持って作ったことに、プレゼンを受けた人からどんなリアクションがあったか？

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク②「どうして、MOVE MOVEなの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
意見	社会実験の意義	<p>全然わかりません謎は深まりました。深掘りでもないでもないですよ。</p> <p>社会実験の開始挨拶で、市長は「広場化に向けて～」って言ってましたよ！！</p> <p>色んな社会実験やイベントを見ると、ターゲットを明確にする＝目的化してしまう。そこから漏れてしまう人に来てもらえないことは、多様性を大事にしていくこれからの街に対して、対象が閉じてしまう。目的がなくても行くことができた今回の取り組みはよかった。</p>
	沿道建物等との関係性	<p>通行止めをしてまで行うことではない。言われる通り旧さくら野とエデンの開発と密接に絡んでいます。これをやりたいなら、この両側の再開発時点で、連絡橋を設置する事だと思う。社会実験での行いは十分カバー可能。</p> <p>名所になりつつある朝市や、名掛丁アーケードへの導線はペDESTリアンデッキである。そもそも旧さくら野や暫定施設であるエデンを含めた話にならないところが仙台の稚拙な縦割り行政が原因。</p> <p>人の中枢は青葉通りでなく、ペDESTリアンデッキである。</p>
	空間二ーズ	<p>長いアーケード通りを歩くと結構疲れることがある。来詣りや仙台駅を起点に行動する人が寄り道してひと休みできる場所があるのはいい</p> <p>なぜ青葉通りなのか？東京でも丸の内口から広がる官庁街に賑わいを求めないでしょ！加えて、なぜ、現状を無視するのか？</p>
	交通面	<p>交通面は心筋梗塞より上半身動脈硬化ではないかと。周辺も交通混雑していたし。空間での人の活動や、滞在、交流、登壇者が語る取り組みのプロセスは滞っていたものが流れ始めた感じ。</p> <p>都市機能を毀損させる恐れを生みます。駅への重要な導線です。先ほども西口のクルマをシャットアウトし、東口へなどとの暴論もあり、現状を認識してるのか？その導線をも考慮せず、夢物語はやめてほしい！</p> <p>社会実験が原因で渋滞してるとの批判が殺到している。もう少し遠い未来を考えていただける機会を持てる場が欲しい。</p> <p>車両の交通量は、減少傾向だと聞いたことがある。10年もすれば、動脈硬化の状況も多少なりとも変わってくるかもしれない。</p> <p>顔として表情を考えて行くこと、赤や青のデザインを検討していくことは「挑戦」としてよいと思う。仙寧ろデザイン、色、コンセプト検討は若い人を中心にどんどんすべき。</p> <p>車で駅に行けなくなるとは言っていなかったし、どのような顔、表情、心臓？にしていくかをさくら野の開発とあわせて考えていくのは良いのでは？現状でよい＝何もしないことなので、すぐには感じなくても衰退して行くばかりであり、気づいた時には手遅れになるのでは？</p> <p>交通規制には反対がつきもの。マイナスな声は悪くないが、デザイナーや建築に関わる人が参画に不安を感じないようにしてあげて欲しい。</p>
	広報	<p>令和4年9月の市政だよりはとても落ち着いた感じでよかった。インフルエンサーによるイベントの周知に公金を投じる必要性はあったか？</p> <p>泉区在住泉区勤務だが、全く知らなかった。仙台市というよりは、青葉区の企画？もっと告知の仕方があるのではないか。</p>
	ロゴ・デザイン	<p>社会実験にロゴなど必要か？これも2億に含まれるのか？公金で遊んでいるような印象を受けた。実験は目的でなく、手段なはずです。</p>

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク②「どうして、MOVE MOVEなの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
	社会実験の意義	既存の青葉通りとは大きく変えたことは、いろんな反応をみれたり可能性を探ることとして、良いと思う！
		すごく良い取り組みなので、単なるイベントや身内ノリだと、思われないようにしてほしい。
	市民参画イベント	登壇者の話を聞いて、住民説明会をやって終わりにする行政よりも、短い時間の中で街のことを丁寧に考えていると思った。
	沿道建物等との関係性	旧さくら野百貨店の壁やバス停、エスカレーターなど既にある街の構造物を使うことで、普段との違いを演出する取り組みって良いなと思う。風景のリノベーションみたいなことはステキ。
	交通面	心臓つまりますよ。心筋梗塞です。
感想		街の中心を歩くのがアーケードの役割と認識されているので 駅の前で足を止めてイベントを見たり休んだり、仙台の散策の計画が立てたり…そんな空間になってもいいなと話を聞きながら思った。
	空間二ーズ	青葉通りの車道から見える仙台駅が綺麗でした！ 車道を歩けることが歩行者天国みたいで楽しかった。
		仙台駅ペDESTリアンデッキあるが、歩いて止まるところがないので、確かに座ってゆっくりできる場所はよさそう。
	空間デザイン	仙台駅降りてわかりやすい色とか(芝生とか見ると)自然と目がいくので はっきりした色で良かった。
	昔との比較	旧さくら野にある昔の仙台の写真は歩きながら昔の仙台に触れられてとても良かった。
	広報	実験当時のYahoo Newsでの取り上げで、相当数の批判ありましたよね。
	ロゴ・デザイン	先のトークで、仙台の顔という言葉が使われていたかと思うが、ビジュアルデザインは仙台の心臓をイメージしていたのですね。 ロゴがあることでイベントの印象も強くなり違和感を最初は持ったが、少しずつ違和感の理由がわかるようになった。これまで他の地域ではここまで印象に残るランドマークのようなイメージを強烈に持ったことがなく、新しい仙台を感じる。

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク③「MOVE MOVEどんなことをやったの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
質問	社会実験の意義	個人的には、東口のヨドバシ然り、仙台が段々リトル東京化してきて悲しいところだったので、今回のイベントは何か街の活力のようなものを感じられて嬉しかった。登壇者の皆様は、次の社会実験があるとしたら、どんなものになると良いと思うか？(最終的な未来の街の姿についてでも)
	今後に向けて	「人の繋がり」「ひととなりを動かす」というお話があったが、登壇者の皆様は、そうした今回得られた効果を、今後街に根付かせていくために、どうしたら良いと思うか？
	担い手・協力者	仙台旅先体験コレクション、仙台観光国際協会が関与していたのか？
		登壇していらっしゃる皆様は、MOVE MOVEに関わられたことの影響、反響はあったか？
		また社会実験をやるとして、コンテンツを選ぶ際は仙台旅先体験コレクションを使うか？コンテンツの選定に当たってどのような事業者と連携していくのか？
	コンテンツ	コンテンツの決定に市役所は関与したのか？公平感がないから業者で選定されたのですか？
		平日と休日でコンテンツを分けているのか？
		単発の企画が定着しないことから「イベントの街」なんて言われる仙台だが、コンテンツだよりにならないような工夫はなにかされたのか？ 非日常感が新鮮で素敵な今回の企画が、日常になったあとどのように継続されていくのか気になる。
	参考事例	パデストリアンデッキにスピーカーが置いてあったが、あれも何かの社会実験なのか？
		仙台駅側と愛宕上杉通り側でコンテンツや配置を分けたり工夫したことなどあるか？
	福岡や御堂筋で行った事を参考資料として羅列されてるだけではないか？	

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク③「MOVE MOVEどんなことをやったの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
意見	社会実験の意義	どこまでいっても青葉通で行う必然性を感じない。畳もペDESTリアンデッキに置けばいいのでは？ミスコンの宣伝？名掛丁や朝市への導線とする事が経済効果上がるのでは？ノーコンセプトをいい事にやりたい放題された印象です。 明石市=子育てしやすい街のように、観光地だけでなく政策としても 仙台ならのものをみんなで考えていきたいですね。
	担い手・協力者	仙台の大学や団体とコンテンツを作っていくのは、若者の意見や思いが入って良さそう。
	学生の関わり	高校生と接する機会が多い仕事をしている。探求学習が必修化され、自分たちで課題を見つけて、掘り下げ、探求していく授業がある。そういう場として、行政が連携して生徒たちが気軽にまちが使えると良いなと思った。 高校生の探究活動に活かすってコメント、メチャクチャ良い。学都仙台なんて言われるくらいなんだから、学生/若者が輝ける場がもっと増えたらいいなと思う。
	空間ニーズ	東京然り、仙台然り、街中は息をするだけでお金がかかる。子ども連れ世代は、家以外の場所で居場所があるといいのかな ベビーカーが集まる写真があったが 子育て世代で横のつながりが生まれるきっかけにもなっていたのかなと感じた。
	沿道建物等との関係性	核家族化の進行や地域コミュニティの衰退で、「悩みを打ち明ける場がない」人が増えたなと思う。効率・デジタルばかりに目が行きがちな社会ですが、今回のMOVEMOVEのような場があることで「人」の繋がりが促されたらいいなと思う。
	コンテンツ	その地の工芸品などはショーケース内でみることが多いが 実際に座って体験できるものは面白そう。 ペDESTリアンデッキのスピーカーは、多重同時に音を出しても違和感なく聞こえるという最新技術を入れたと聞いた。
	開催時期	焚き火がいいなら、冬季間におこなってみては？まるっきり違った答えになるのではないかな。
	交通面	バスやタクシーなどの交通面で消極的な意見を発している方が多いと感じる。アクセシビリティを下げずに実現したい。
	広報	期間中、SNSの分析をされてたのは知らなかった。スマホで投稿できる仕組みがあると良かった。
	意見に対する意見	Yahooニュースのコメントのように、僻んだ目線で見られたい方がいますね。意見することは良いですが、建設的な意見、大人としての言い方ができないと、仙台市民は残念な人が多く、許容がない閉鎖的だと思われる。 「自慢大会」と表現されている方がいますが、自慢できることはいいことではないか？ 住みやすさだけでなく、「こんなこともできる街、認めてもらえる街」に私は住みたい。
	安全性	子供でも火傷したら、いっぺんに批判になるでしょうね！ 過剰な安全安心などと言ってる人に限って騒ぎ出す構図！

<参考資料>

市民参画イベント: アンケート調査結果 & 参加者コメント

<参加者コメント>

◆クロストーク③「MOVE MOVEどんなことをやったの？」

カテゴリ①	カテゴリ②	内容
感想	社会実験の意義	色んな声はあるが、初めて他県の友人に対して、自慢したくなる誇らしい取り組みだったと思った。
	空間デザイン	今まで空間とか視覚的なものが多かったが、香りなどもあるといるだけで楽しめそう。
		五感で楽しめる空間めっちゃ最高だった！ 原木・樺の香りが駅をおりてすぐ感じれるのすごい存在感。
		乳幼児のお子さんが、畳の上で気持ちよさそうにしていたのを思い出した。
		出てくる写真が笑顔が溢れていてとても楽しそう。
		ストリートピアノが置いてあって、通りすがりの人がふらっと弾いて、そこに人が集まってくる、ホントの意味での「音楽の街」を見た気がする。
	ピアノを弾いた瞬間消えるBGM、滑らかすぎて気づかなかった！！	
	仙台市が駅前エリアの緑地化を政策として打ち出したと伺った。社会実験がリアルに、仙台のシンボルになると想像するとワクワクする！	
	社会実験が終わってから仙台駅周りの人の流れをみて青葉通りを考えるようになった。	
	沿道建物等との関係性	たしかに駅のド真ん前だからこそ、ペDESTリアンデッキから見て興味を惹かれた人は多いかもしれない。
今は自宅に和室が無い家も多いと思う。子供たちにとっても日本の文化(畳)に触れられたのはいい経験になったと思う。		
交流	繋がろうとした人とは繋がれる世の中だが、逆に繋がろうと思わないと繋がりがなくなっているのかなと思う。「場」があるからこそ生まれる世代も性別も跨いだ「人の輪」が出来てる様子が素敵だった。	
社会実験中、焚き火の場所で毎回会う人が居たり、初めましての人がごちゃ混ぜで同じ場所に居て、面白かった。		
コンテンツ	焚き火と仙台駅の上にある「SENDAI STATION」が合わさってとても良かった。写真をSNSでたくさんみました。	
	宮城県が稲わらの生産量が日本一とは知らなかった。コースター作りWSでは、子どもが作るだけでなく、匂いを嗅いで楽しそうだった。	
	観光案内所はあちこちにあるが、体験をして観光する場所を決めるような企画になって素敵。	
イベントしたり、物を置いたりするだけでなく、ラジオや学生、社会人、よそ者、それぞれの立場から、「人に伝える社会実験だった」。		
日常を非日常が混在して、裏表どちらも楽しめる、そんな可能性を感じる期間だった。		
ストリートピアノを弾いているときにバイオリンを持った方がいて共奏が始まったのが素敵だった。		
担い手・協力者	若い作り手の方の想いや生の声が聞けてよかった。	
	商品・企画の創り手の顔が見えて、直接話しが聞けるのは大人にとっても子どもたちにとっても有意義。	
	今日の雨のように外だと天候が読めないこともあると思うが、そこも考慮されながら企画していただいております。	
行政だけでなく、様々な事業者の企画サイドも参画し、「街の行く末を気にする人」が増えるのはオープンな社会実験の意義な気がする。		
学生の関わり	学生の皆さんが社会実験(まちづくり)に参画されているのは素晴らしい。さすが学都せんだい！	
	学生のパワーに突き動かされて沢山の人が参加しているのが素敵。	